

世界遺産と郷土芸能を生かした地域活性化事業
三陸のひと・芸能・風土に出会うアーティスト・イン・レジデンス

鉄・戦争・震災・芸能・暮らし

朗読劇

かまいし

の
ごえ

お話聞き取り・テキスト
劇作家 私道かび

出演
C-Zero アカデミー
ほか

いろんな人から
釜石のお話を
たくさん聞いたよ

橋野鉄鉱山
世界遺産登録10周年

2025

11/22 土

海と希望の学園祭 in Kamaishi

鉄の学習発表会 内

入場無料

会場 釜石 PIT 釜石市大町一丁目1番10号

13:40 ~ 鉄の町釜石ー大島高任のあゆみー
発表 釜石小学校5年生

14:10 ~ 朗読劇 かまいしのごえ

出演 C-Zero アカデミーほか

終了予定 14:50



朗読劇 かまいしのこえ

鉄・戦争・震災・芸能・くらし

いろいろな方々にお話を伺いました

初めて釜石に来た今年の夏、もうもうと立ち上り続ける煙と、うみねこの鳴き声に「鉄と魚のまち」を実感しました。その日から釜石の方々にたくさんお話を聞かせてもらう日々を重ね、町の輪郭が徐々に浮かび上がってきました。今年世界文化遺産登録 10 周年の橋野鉄鉱山に関わる方々のお話や、この町をつくってきた鉄産業の思い出、橋野鹿踊り、中村さんさ踊りを引きつぐ皆さんの今の心のうち。宮古まで炎の赤が見えたと聞くほどの、すさまじい艦砲射撃のあったあの戦争の話。先の震災の後、暮らしてきた日々のこと。出会った人の数だけ知らない釜石の姿があって、それを何とか残そうと書き留めたのが、今回の作品です。当日は、この作品を釜石の C-Zero アカデミーや有志の皆さんが朗読してくださることになりました。沢山の方々の協力で出来上がった【かまいしのこえ】を、ぜひ会場で一緒に楽しんでいただけると嬉しいです。



お話聞き取り・テキスト



私道かぴ（劇作家 / アーティスト）

1992 年生まれ。京都を拠点に活動する団体「安住の地」所属の劇作家・アーティスト。身体性を意識した演出と、各地に実際に滞在し聞いた話を基に作品をつくる。近年はお祭や養蚕、替女、団地など土地とつながりの深いテーマで制作。『かいころくー工女編ー』で第 11 回北海道戯曲賞大賞受賞。岩手での滞在制作は、2024 年に宮古市にてみやこ市民劇ファクトリー出演で発表した朗読劇『みやこのこえ』に続き二度目となる。

出演



C-Zero アカデミー

2025 年 4 月、演技・歌・ダンスなどを総合的に学べる釜石初のタレント養成所として開校。現在、基礎科第 1 期生 20 名が在籍。キャストینگ会社との提携により在学中から映像出演の機会を提供し、開校から半年でラジオドラマや映画、ドラマ出演も実現。“地方だからできる”芸能活動を通じ、地域の活性化を目指している。

釜石 PIT は TETTO の隣だよ！

会場：釜石 PIT 釜石市大町一丁目 1 番 10 号

アクセス

- JR 東北新幹線新花巻駅から車で 1 時間 30 分
- いわて花巻空港から車で 1 時間 10 分
- 陸前高田から車で 45 分
- JR 釜石線釜石駅から徒歩 11 分



三陸のひと・芸能・風土に会う アーティスト・イン・レジデンスとは

三陸で生まれた多彩な郷土芸能を活かし、アーティストと地域が交流する企画です。アーティストが地域に滞在し、郷土芸能や文化を学びながらその成果を地域で発表します。